

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容③】 端末の持ち帰りによる授業と家庭学習の連動

【概要】主に5・6年生の社会科や総合的な学習の時間において、情報収集の時間を家庭学習として取り入れることで、授業中の議論に時間をかけることができるようになった。家庭学習を踏まえた授業デザインを通して、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す。

実践例①「家庭学習を取り入れた授業デザインの工夫」

授業デザイン（これからの工業）		改善した単元構成
従前の単元構成		朝学習 前単元の振り返りを基に、学び方のルーブリックを作成する。
1 伝統を生かした工業や中小工場の技術に着目して、問いを見出す。	家庭学習 3日間	1 学習問題と個人の追究課題を設定する。 情報端末を持ち帰り、個人の追究課題について家庭学習で調べ、調べノート（シャムボード）にまとめておく。
2 伝統的な工業について調べる。		2 テーマが似ている人たちがグループとなり、情報を整理・分析する。整理・分析した内容を協働編集でスライドにまとめる。必要なときには調べ直す。現時点での学び方を振り返る。
3 大田区の工場（中小工場）について調べる。		3
4 工業生産の課題や、課題に対する取り組みについて調べる。		4 スライドを使って全体でプレゼンする。聞き手はチャットで感想や疑問を交流をする。 プレゼンを受けて疑問に感じた内容について調べ、チャット上で交流する。（家庭）
5 これからの工業生産に大切だと思うことを話し合う。		5 これからの自動車工業について考え、議論する。

授業デザインの際、情報収集を家庭で行うことを取り入れえることで、授業を整理・分析・表現等の協働的な学びの時間の充実を図ることができた。

実践例②「協働的な学びの時間の充実」



家庭学習で収集した情報をグループ内で共有し、共同編集しながら情報を整理・分析している。

十分な時間が確保されているため、議論を通して、不足した情報や、真偽の分からない情報について調べ直しをしながら、課題解決に向かうことができた。

課題：車の最新技術について

環境に優しい車

環境に優しい車は、電気や水素、天然ガス、生き物、食物を燃料にして動かされている。また、最新技術によって、ガソリンをほとんど使わずに車を動かせるようになってきている。

天然ガスは、天然ガスを利用した燃料として、ガソリンよりも燃費が良く、CO2の排出量が少なく、環境に優しい。また、天然ガスは、ガソリンよりも安く、ガソリンよりも長く使える。

電気自動車は、ガソリンよりも燃費が良く、CO2の排出量が少なく、環境に優しい。また、電気自動車は、ガソリンよりも安く、ガソリンよりも長く使える。

水素自動車は、ガソリンよりも燃費が良く、CO2の排出量が少なく、環境に優しい。また、水素自動車は、ガソリンよりも安く、ガソリンよりも長く使える。

生きている生物は、ガソリンよりも燃費が良く、CO2の排出量が少なく、環境に優しい。また、生きている生物は、ガソリンよりも安く、ガソリンよりも長く使える。

飛鳥・奈良 情報収集

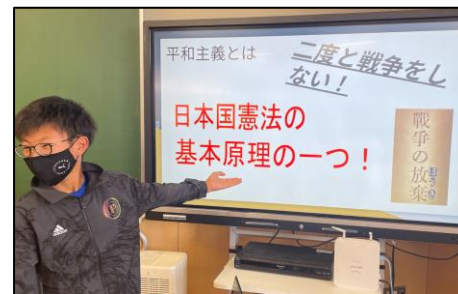
長谷川菜々・9月1日（最終編集：18:55）

100点

- 自分の課題に対して、十分な情報収集をして自分なりにまとめてみましょう。
- 教科書・NHK for Schoolの動画クリップ・本を中心に情報収集しましょう。（インターネットは信用できるサイトなのかしっかり確認してください）
- 9月4日（月）まで

飛鳥・奈良 情報収集④
Google Jamboard

飛鳥・奈良 情報収集②
Google Jamboard



整理・分析したことを、グループごとにスライドにまとめ発表。各グループのプレゼンに対して、GoogleChatを活用し、意見交流やアドバイス等即時共有し、子供たち同士で学びが深まる学習環境を設定するようにしている。

個人でまとめた情報収集ノート

GoogleClassroomに学習方法の指示を掲載